

平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月7日

上場会社名 株式会社サトー商会
 コード番号 9996 URL <http://www.satoh-web.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月12日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 滝口 良靖
 (氏名) 岡本 雄次郎
 TEL 022-236-5600
 配当支払開始予定日 平成25年12月4日

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	22,010	△0.1	346	△37.0	451	△35.9	274	△47.1
25年3月期第2四半期	22,028	10.5	549	55.7	704	56.0	518	107.2

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 293百万円 (△42.5%) 25年3月期第2四半期 510百万円 (110.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	30.65	—
25年3月期第2四半期	57.95	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	26,985	18,557	68.8	2,075.40
25年3月期	27,788	18,371	66.1	2,054.58

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 18,557百万円 25年3月期 18,371百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	12.00	—	12.00	24.00
26年3月期	—	12.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	45,020	1.1	986	△10.4	1,220	△11.4	736	△22.2	82.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	9,152,640 株	25年3月期	9,152,640 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	211,138 株	25年3月期	211,103 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	8,941,527 株	25年3月期2Q	8,941,532 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成25年4月1日から9月30日)におけるわが国経済は、政府・日銀による金融緩和を始めとする経済政策の効果もあり、輸出関連企業を中心に業績の改善と設備投資意欲の高まりが見られるなど、景気は緩やかに回復しつつあります。一方、円安による原材料や食品等の輸入商品の価格上昇が、一般消費者の消費支出に及ぼす影響は大きく、本格的な景気回復には相応の時間を要するものと考えております。

食品業界におきましては、景気回復による消費者マインドの改善が期待されますが、国内の市場規模に拡大が見られない中、低価格販売競争の継続や消費者の節約・低価格志向が依然として続いております。また、電気料金の値上げ、消費税増税など、消費者の先行きに対する懸念は払拭されておらず、厳しい経営環境が続いております。

このような環境のもと当社グループは、「業種別の市場占有率を高める」を年度方針に掲げ、お客様の立場に立った仕入体制、付加価値の高い商品開発を進めると共に、高い専門性を有した人財の育成に取り組んでまいりました。また、より一層の経営の効率化を図り、積極的な営業活動を展開しておりますが、営業エリア拡大のため昨年度下期に新設しました営業所、店舗、及び災害対策強化設備などの投資による諸経費が増加いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高220億10百万円(前年同四半期比0.1%減)、営業利益3億46百万円(同37.0%減)、経常利益4億51百万円(同35.9%減)、四半期純利益は、2億74百万円(同47.1%減)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

卸売業部門におきましては、東北各県及び栃木県エリアの新規得意先様の開拓、既存得意先様への更なる深耕を継続して行うと共に、業種別政策を強化するため専門性の高い展示会、ミニ提案会を実施してまいりました。また、得意先様のお役に立つため、消費者ニーズに対応した商品開発・メニュー開発、売場づくりのご提案、販売促進活動や調理技術の支援など、お客様と一緒に集客アップにも取り組んでまいりました。商品開発におきましては「J F S A」ブランドを中心とするオリジナル商品、東北各地域の原材料を使用した地産地消商品の開発、原材料の価格高騰による商品の値上げに対応した商品の見直しなど、同業他社との差別化戦略に重点を置いた商品の提供に努めてまいりました。また、新設営業所を始め、業種別毎に新規得意先の開拓を積極的に行い売上が堅調に推移したことで、前年度の大口取引先とのアライアンス解消による影響をほぼ吸収いたしました。

この結果、売上高192億8百万円(前年同四半期比0.1%減)、セグメント利益(営業利益)は4億50百万円(同24.9%減)となりました。

小売業部門におきましては、業務用食品専門店として一般スーパーとの差別化を明確にするために、製菓材料を始めとした専門商材の品揃えの充実を図ると共に、主要顧客であります中小飲食店業者様へ、ダイレクトメールによる「C&Cメンバーズインフォメーション」を発行し、お役に立つ情報の提供と付加価値のある商品開発に努めてまいりました。新たな会員の獲得により、業者会員様への売上は好調に推移いたしました。また、一般のお客様には、魅力ある「J F S A」ブランド商品の販売促進を行うと共に、便利性的な品揃えを増やすなど、専門商材の訴求を積極的に行ってまいりました。昨年開設いたしました店舗につきましては、地域との密着を図りながら業績は順調に推移しております。

今後の施策につきましては、仙台市中央部の店舗をご利用の中小飲食店業者様向け配送サービスなど、利便性の高い店舗作りを行ってまいります。

この結果、売上高は28億2百万円(前年同四半期比0.1%増)、セグメント利益(営業利益)は1億29百万円(同27.1%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ8億2百万円減少し、269億85百万円となりました。これは主に、現金及び預金が6億59百万円、受取手形及び売掛金が2億3百万円、有価証券が10億85百万円減少し、投資有価証券が10億15百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末と比べ9億88百万円減少し、84億28百万円となりました。これは主に、前連結会計年度末日が金融機関の休日であったため、支払手形及び買掛金が8億83百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比べ1億86百万円増加し、185億57百万円となりました。これは主に、四半期純利益2億74百万円及び剰余金の配当1億7百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は68.8%(前連結会計年度末66.1%)となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比べ16億59百万円減少し、50億15百万円（前年同四半期53億75百万円）となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は4億55百万円（前年同四半期5億89百万円の獲得）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益及び前連結会計年度末日が金融機関の休日であったことに伴う仕入債務の減少によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は10億96百万円（前年同四半期21億95百万円の使用）となりました。これは主に、定期預金の払戻及び有価証券の償還並びに有価証券及び投資有価証券の取得によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は1億7百万円（前年同四半期1億7百万円の使用）となりました。これは主に、配当金の支出によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成25年5月10日の「平成25年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,774,770	1,115,396
受取手形及び売掛金	5,156,613	4,953,328
有価証券	7,500,000	6,415,000
商品	1,781,465	1,875,497
その他	557,968	555,627
貸倒引当金	△14,663	△9,951
流動資産合計	16,756,155	14,904,898
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,802,967	1,821,480
土地	3,994,426	3,994,426
その他(純額)	435,953	459,548
有形固定資産合計	6,233,347	6,275,455
無形固定資産		
	84,791	83,811
投資その他の資産		
投資有価証券	3,517,064	4,532,408
その他	1,214,992	1,221,045
貸倒引当金	△18,324	△32,085
投資その他の資産合計	4,713,732	5,721,368
固定資産合計	11,031,871	12,080,636
資産合計	27,788,026	26,985,534
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,508,081	6,624,633
短期借入金	580,000	580,000
未払法人税等	255,200	189,300
賞与引当金	251,797	330,666
その他	598,027	512,104
流動負債合計	9,193,106	8,236,704
固定負債		
退職給付引当金	15,730	21,206
役員退職慰労引当金	189,614	151,279
資産除去債務	5,785	5,837
その他	12,653	13,346
固定負債合計	223,783	191,669
負債合計	9,416,890	8,428,373

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,405,800	1,405,800
資本剰余金	1,441,717	1,441,717
利益剰余金	15,696,707	15,863,428
自己株式	△187,630	△187,662
株主資本合計	18,356,593	18,523,283
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,542	33,877
その他の包括利益累計額合計	14,542	33,877
純資産合計	18,371,136	18,557,161
負債純資産合計	27,788,026	26,985,534

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	22,028,847	22,010,725
売上原価	18,297,823	18,346,127
売上総利益	3,731,024	3,664,597
販売費及び一般管理費	3,181,665	3,318,369
営業利益	549,359	346,227
営業外収益		
受取利息	28,672	45,890
受取配当金	3,929	3,858
持分法による投資利益	13,623	17,279
受取賃貸料	26,659	26,582
投資有価証券償還益	79,022	—
その他	10,634	19,307
営業外収益合計	162,541	112,916
営業外費用		
支払利息	1,506	1,449
賃貸収入原価	6,231	6,522
その他	111	—
営業外費用合計	7,849	7,971
経常利益	704,051	451,172
特別利益		
補助金収入	134,660	—
その他	5,499	—
特別利益合計	140,159	—
特別損失		
固定資産除却損	413	2,313
固定資産売却損	3,088	—
その他	283	—
特別損失合計	3,785	2,313
税金等調整前四半期純利益	840,425	448,858
法人税、住民税及び事業税	240,961	195,553
法人税等調整額	81,272	△20,715
法人税等合計	322,234	174,838
少数株主損益調整前四半期純利益	518,191	274,020
四半期純利益	518,191	274,020

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	518,191	274,020
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△7,640	19,334
その他の包括利益合計	△7,640	19,334
四半期包括利益	510,550	293,355
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	510,550	293,355
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	840,425	448,858
減価償却費	131,039	152,401
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△11,551	△38,335
災害損失引当金の増減額 (△は減少)	△5,601	—
賞与引当金の増減額 (△は減少)	55,388	78,868
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△4,138	9,048
受取利息及び受取配当金	△32,602	△49,748
支払利息	1,506	1,449
持分法による投資損益 (△は益)	△13,623	△17,279
補助金収入	△134,660	—
固定資産除却損	413	2,313
固定資産売却損益 (△は益)	3,088	—
投資有価証券償還損益 (△は益)	△79,022	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△263,757	203,285
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△194,548	△94,025
仕入債務の増減額 (△は減少)	623,036	△883,448
その他	2,294	△76,561
小計	917,688	△263,173
利息及び配当金の受取額	40,415	70,198
補助金の受取額	134,660	—
利息の支払額	△1,525	△1,448
法人税等の支払額	△502,020	△260,735
営業活動によるキャッシュ・フロー	589,218	△455,158
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,000,000	—
定期預金の払戻による収入	—	1,000,000
有価証券の取得による支出	△3,400,000	△2,500,000
有価証券の償還による収入	2,900,000	1,600,000
有形固定資産の取得による支出	△521,381	△188,838
有形固定資産の売却による収入	15,500	—
無形固定資産の取得による支出	△20,523	△9,057
投資有価証券の取得による支出	△1,502,404	△999,074
投資有価証券の償還による収入	1,329,229	—
その他	4,393	313
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,195,186	△1,096,657

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の純増減額 (△は増加)	7	△32
配当金の支払額	△107,298	△107,298
その他	△319	△319
財務活動によるキャッシュ・フロー	△107,609	△107,649
現金及び現金同等物に係る換算差額	△111	91
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,713,689	△1,659,374
現金及び現金同等物の期首残高	7,089,366	6,674,770
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,375,676	5,015,396

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	卸売業部門	小売業部門			
売上高					
外部顧客への売上高	19,229,619	2,799,228	22,028,847	—	22,028,847
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	19,229,619	2,799,228	22,028,847	—	22,028,847
セグメント利益	599,136	178,004	777,140	△227,781	549,359

(注) 1. セグメント利益の調整額△227,781千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	卸売業部門	小売業部門			
売上高					
外部顧客への売上高	19,208,288	2,802,437	22,010,725	—	22,010,725
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	19,208,288	2,802,437	22,010,725	—	22,010,725
セグメント利益	450,227	129,836	580,064	△233,837	346,227

(注) 1. セグメント利益の調整額△233,837千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。